プログラム機能及び操作概要

Process Running Monitor Personalはシステムにログインとともにタスクトレイに常駐し、稼動します。

1. 機能一覧

1.1. 稼働中のプロセスを指定した条件に従って表示します。

1.1.1. 監視開始時より一度以上稼動したプロセス

Process Running Monitor Personalを起動してから一度でも稼動したプロセスを初回の検知日時とともに表示します。複数回稼動しても初回検知のみを表示します。メモ帳のように一日のうちに何度も使用するものでも最初の起動のみを表示します。

1.1.2. 監視開始時より稼動の度に記録したプロセス

Process Running Monitor Personalを起動してから複数回稼動したプロセスをその稼動を検知した日時とともに表示します。稼動、終了を繰り返した場合、複数個表示されます。メモ帳のように一日のうちに何度も使用するものは起動を検知する度に表示します。

尚、同時に２個以上稼動している場合は重複は省き、１個と見なします。

1.1.3. 現在稼働中のプロセス

現在稼働中のプロセスを表示します。重複は省きます。

1.2. 表示項目

1.2.1. 稼動検知日時

稼動を検知した日時が表示されます

1.2.2. プロセス名

プロセス名が表示されます。

1.2.3. プログラム名

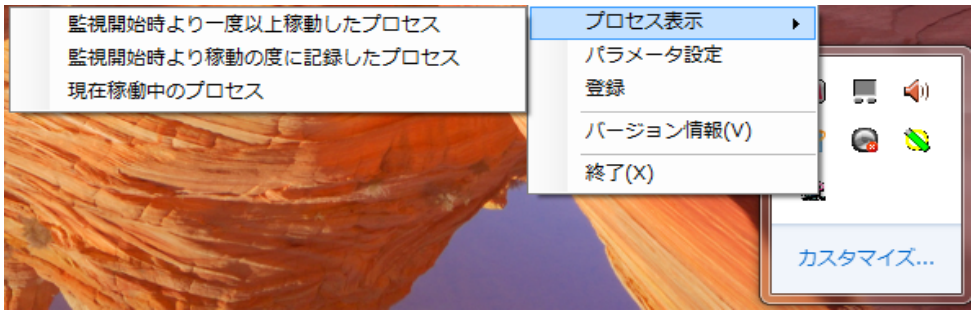
パラメータ設定で指定した「プログラム名称定義CSVファイル」に定義されたプログラム名が表示されます。

2. 操作概要

Process Running Monitor Personalはタスクトレイに常駐して稼動します。各種操作はタスクトレイ上のアイコンを右クリックしてメニューを表示し、各種操作を行います。

2.1. プロセス表示

2.1.1. 条件をメニューから選択します。

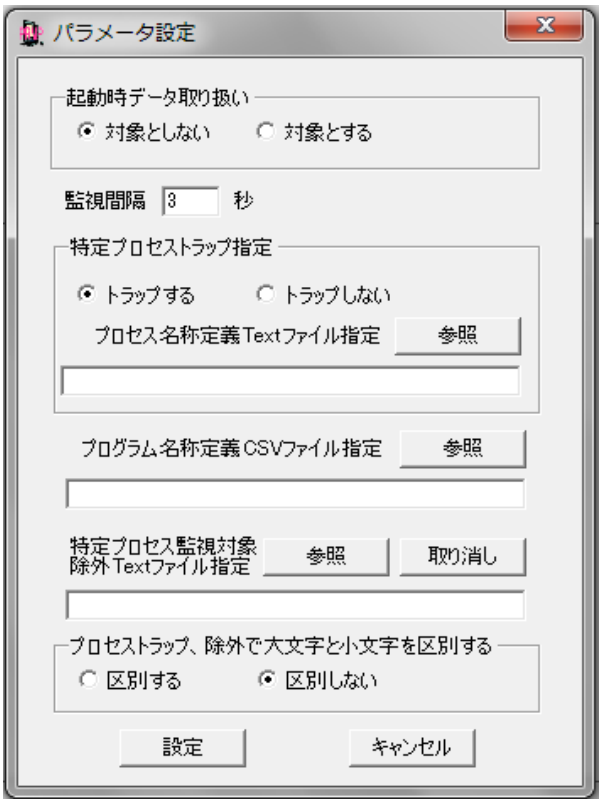


2.1.2. 指定した条件でプロセスの稼働状況が表示されます

稼動検知日時	プロセス名	プログラム名
2010/01/19 11:41:49	mspaint	ペイント
2010/01/19 11:41:49	spoolsv	未定義
2010/01/19 11:41:49	Mcshield	未定義
2010/01/19 11:41:49	DriveSensor	未定義
2010/01/19 11:41:49	GoogleToolbarUser_32	未定義
2010/01/19 11:41:49	wltuser	未定義
2010/01/19 11:41:49	MrnTS_Sync5	未定義
2010/01/19 11:41:49	pdmSub1	未定義
2010/01/19 11:41:49	pdmOldDataCleanUp	未定義
2010/01/19 11:41:49	ielowutil	未定義
2010/01/19 11:41:49	audiodg	未定義
2010/01/19 11:41:49	smss	未定義
2010/01/19 11:41:49	prmPersonal	Process Runnning Monitor
2010/01/19 11:41:49	csrss	未定義

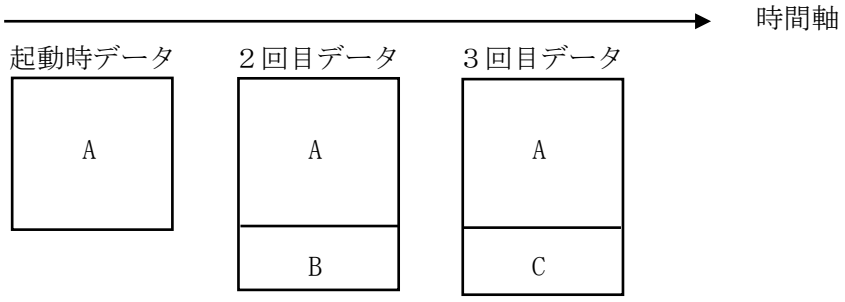
2.2.　パラメータ設定

Process Running Monitor Personalの各種パラメータを設定します。設定上パラメータはProcess Running Monitor Personalの起動時に反映されますので設定後は一度はProcess Running Monitor Personalを終了させて再起動してください。



2.2.1.　起動時データ取り扱い

Process Running Monitor Personalが起動された時点で全ての稼動プロセス名を取得しますがそのプロセスを表示の対象とするか、初期状態はオペレーティングシステム関連や自動起動のプロセスが大半であるため、それらを表示の対象とせず、その後に起動された差分だけを表示の対象とするかを指定します。



2.2.1.1.　対象としない場合

BとCのプロセスが表示の対象となります。

2.2.1.2.　対象とする場合

AとBとCのプロセスが表示の対象となります。

2.2.2.　監視間隔

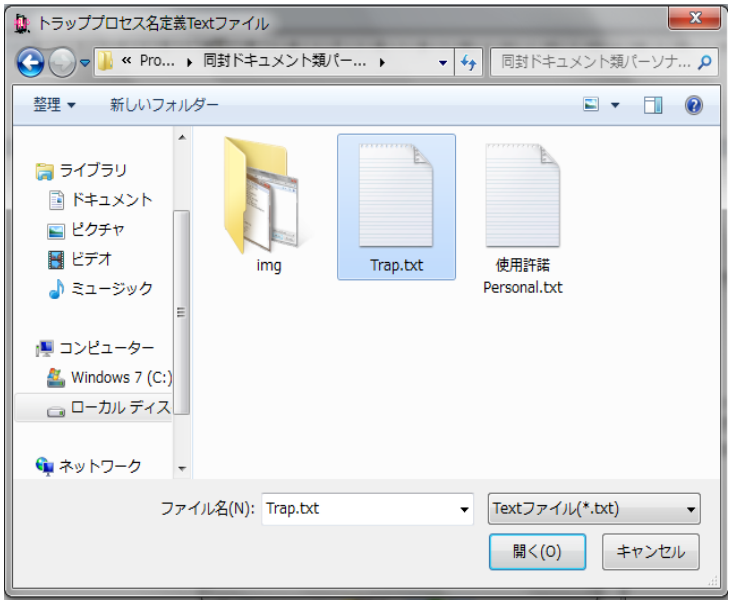
プロセスの稼働状況を監視する間隔を指定します。

2.2.3.　特定プロセストラップ指定

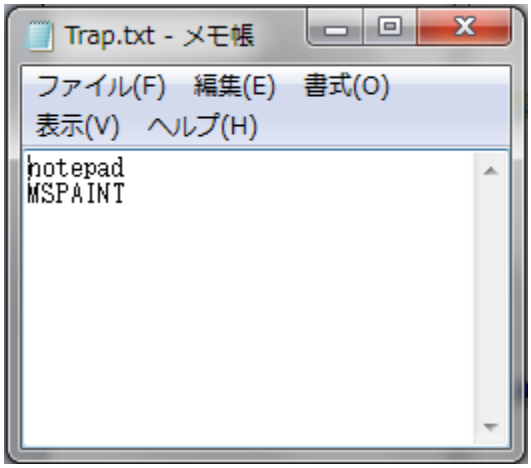
Textファイルで指定したプロセスが起動されたとき、メッセージを出力するかどうかを指定します。

2.2.4.　プロセス名称定義Textファイル指定

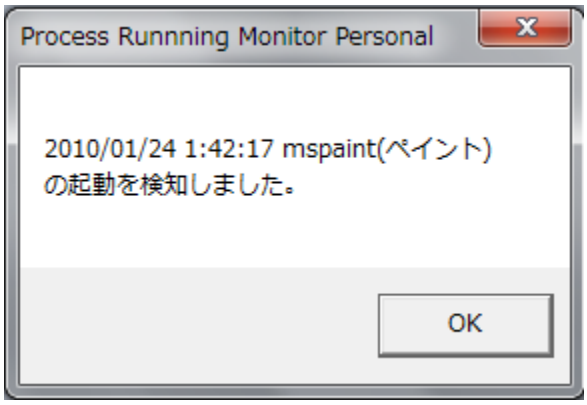
トラップするプロセス名を一行に1個指定します。



プロセス名には拡張子は付けないで下さい。



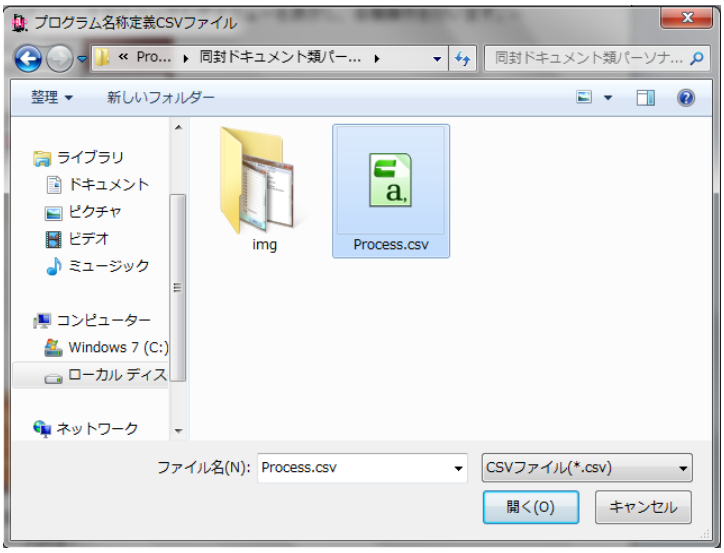
2.2.5.　指定したプロセスをトラップした場合、以下のように表示されます。



2.2.1項の「起動時データ取り扱い」で起動時データも対象とした場合、Process Running Monitor Personalが起動される以前に稼動されているのプロセスのトラップも可能となります。

2.2.6. プログラム名称定義CSVファイル指定

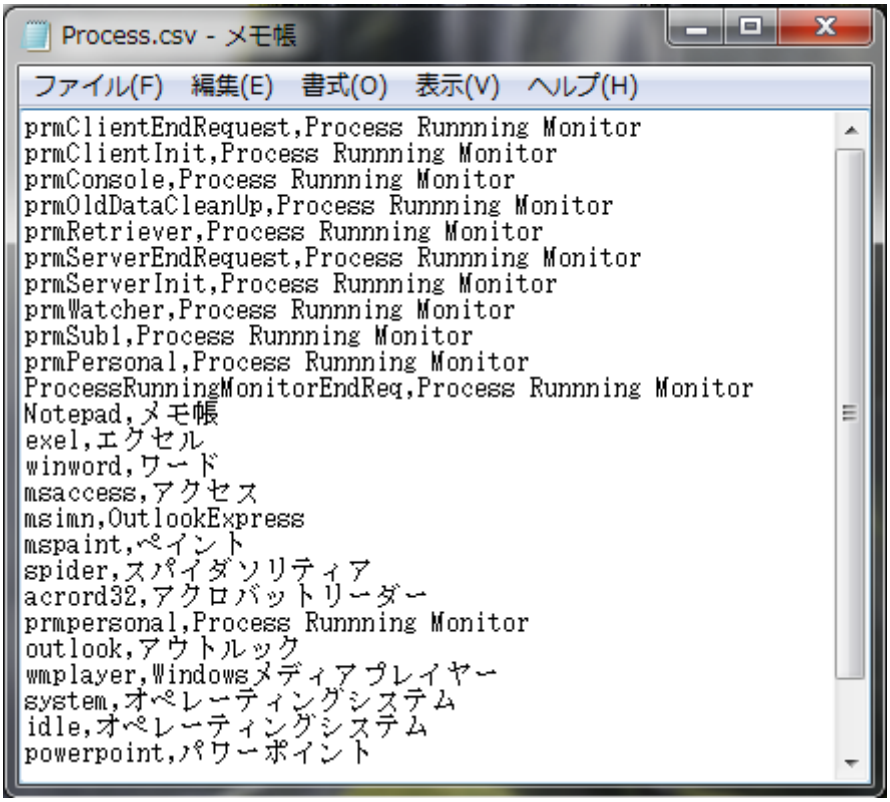
プロセス名とプログラム名を紐付けるCSVファイルを参照ボタンをクリックして指定します。CSVファイルに定義されていればプログラム名が表示され、CSVファイルが未指定、或いは指定されていてもプロセスに対するプログラム名が未定義の場合、プログラム名は未定義と表示されます。



定義フォーマットは

プロセス名，プログラム名

です。

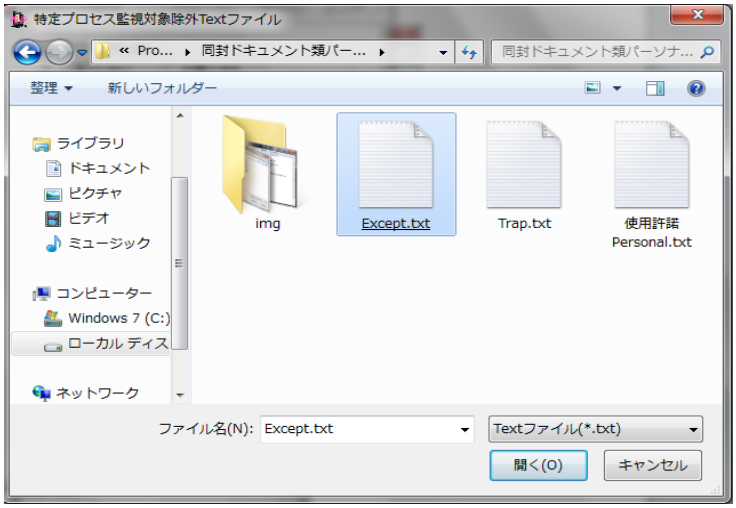


プロセス名には拡張子は付けないで下さい。

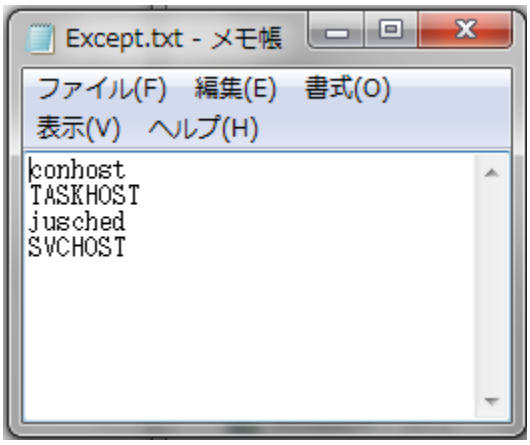
2.2.7.　特定プロセス監視対象除外Textファイル指定

監視の対象から除外するプロセス名Textファイル指定し、そのファイルを指定します。

これによりOS関連のプロセス等、常に稼動し、監視しても表示データが増えるだけであまり意味がないプロセスの監視を除外することが出来ます。



除外するプロセス名を一行に1個指定します。



プロセス名には拡張子は付けないで下さい

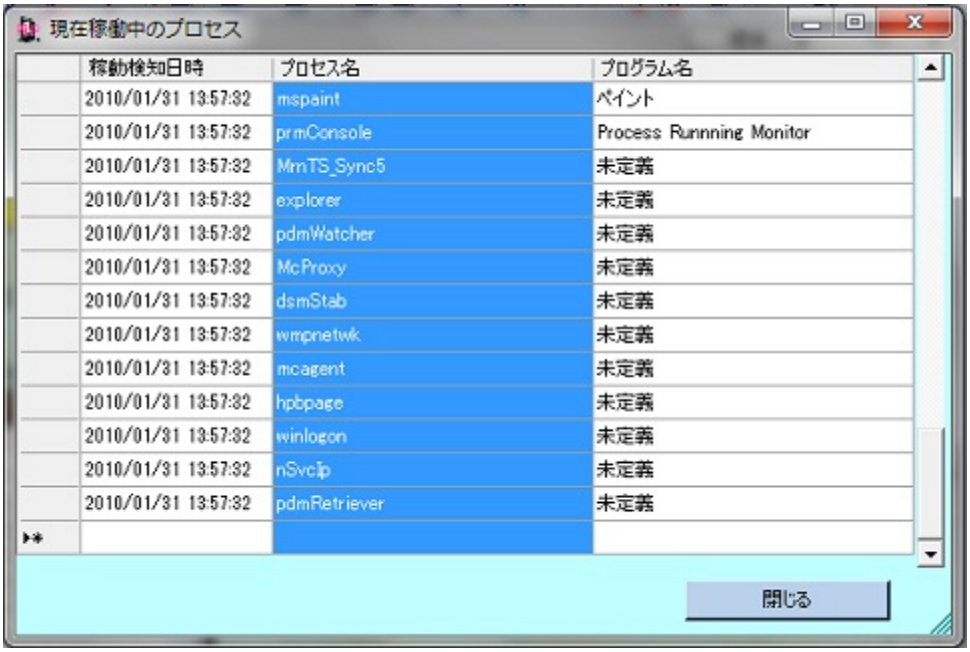
2.2.8.　プロセストラップ、除外で大文字と小文字を区別する

トラップするプロセス名をプロセス名称定義Textファイルで指定されたプロセス名と比較するとき、及び監視対象から除外するプロセス名を特定プロセス監視対象除外Textファイルで指定されたプロセス名と比較するときに大文字と小文字を区別するかどうかを指定します。通常は「指定しない」で問題ないと思います。

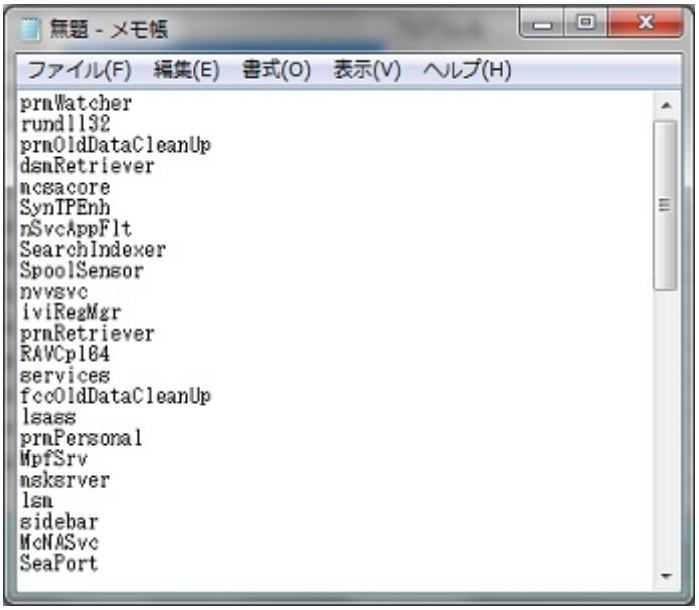
2.3.　雛形となるプロセス名の抽出について

監視対象から除外するプロセス、プロセスに対応するプログラム名の指定はそれぞれTextファイルやCSVファイルで指定します。

それらのファイルを作成する場合、手入力によって作成することも可能ですが、雛形となるプロセス名を抽出する場合は、本ソフトウェアで表示できる3種類のうちのどれかの画面を表示し、プロセス名をクリックして画面の下の方までクリックしたままマウスを移動し、



「CTRL+C」でコピー後、メモ帳などに貼り付けることにより簡単に取り出すことが出来ます。



2.4.　登録

30日を越えてProcess Running Monitor Personalをお使いになる場合はユーザ登録が必要です。30日を越えて未登録の場合、プロセス表示は出来ません。パスワードを入力して登録してください。

尚、登録後はメニューに「登録」の文字は表示されません。